

長期ビジョンと中期経営計画

ヤマトグループは、2025年に向けた長期ビジョンを実現するために、3か年の中期経営計画「KAIKAKU 2019 for NEXT100」を推進しています。本中計では、2019年11月に創業100周年を迎えるヤマトグループが、節目を越えて次の100年(NEXT100)も持続的に成長していくための経営基盤を、働き方改革と3つの構造改革を断行することで強化を図っています。

「KAIKAKU 2019 for NEXT100」の全体像



➤ 全員経営を実践するための「働き方改革」

① 新たな働き方の実現

- 総労働時間の抜本的改善
- ライフステージに応じた自分らしい働き方を実現できる人事制度
- 短時間社員(有期・無期)がステップアップできる制度の構築
- ワークライフバランスの推進
- 社員のケアに目が行き届く管理者の配置拡充

② 「個の力」の最大化

- 教育体系の構築
- 「社員の声」を経営に活かす仕組みの確立
- ダイバーシティのさらなる推進による外国人・高齢者・女性の活躍推進
- 障がい者雇用率2.5%

③ 徹底的なオペレーションの効率化

- オープン型宅配便ロッカー(PUDO*)の拡充
- 8次NEKOシステムによる集配オペレーションの効率化
- AI、ロボット技術などテクノロジーのフル活用

* Pick Up & Drop Off stationの略

➤ 改革01: デリバリー事業の構造改革

- ① 持続的な成長を可能にする事業構造の再構築
- ② プライシング戦略と徹底的な業務効率化による利益率の回復
- ③ 地域の課題を解決するビジネス基盤の構築

➤ 改革02: 非連続成長を実現するための収益・事業構造改革

- ① 業界プラットフォームの構築
- ② クロスボーダープラットフォームの構築
- ③ アカウントマネジメントの推進
- ④ EC向けプラットフォームの構築

2017/3

ヤマトグループの長期ビジョン

「2025年のありたい姿」

ヤマトグループは、『輸送を起点』に、『地域社会』や『国内外の企業』との接点とそこで得られる情報を強みとし、『オープンなプラットフォーム』を構築することで、『新たな価値』を創出する

2020/3
(100周年)

2025

NEXT100

➤ 改革03：持続的に成長していくための グループ経営構造改革

- ① 「機能軸組織」から「顧客軸組織」へ
- ② 「個別最適」から「全体最適」へ
- ③ 「縦割の組織別収支管理」から「アカウントマネジメント」へ
- ④ 「機能別投資」から「R&D “+D”による先取りの投資」へ
- ⑤ 「自前主義」から「オープン主義」へ

➤ デジタル・イノベーションへの対応

- ① 「R&D “+D” 機能」3つの戦略
 - クロネコビッグデータ構築と活用
 - コーポレートベンチャリングの活用
 - Disruptive(脅威)となり得るビジネスモデルの早期察知、対応策定
- ② デジタル・イノベーション推進室(YDIC)の設置(2017年4月)

➤ ガバナンスの強化

グループ経営の健全性を高める
グループガバナンス改革の推進

主要経営指標

積極的な投資

経常投資*1	2,000億円
成長投資*2	1,500億円
合計	3,500億円

*1 土地、建物、荷役機器、車両など

*2 デジタル・イノベーションや外部企業とのアライアンス、働き方改革など

連結数値目標

連結営業収益

2017年3月期実績	➤	2020年3月期計画
1兆4,668億円	+2,031億円(+13.8%)	1兆6,700億円

連結営業利益

2017年3月期実績	➤	2020年3月期計画
348億円	+371億円(+106.4%)	720億円

連結営業利益率

2017年3月期実績	➤	2020年3月期計画
2.4%	+1.9ポイント	4.3%

ROE

2017年3月期実績	➤	2020年3月期計画
3.4%	+4.3ポイント	7.7%